



知的集積産業というすべての産業における新しい現実と、新しいエリートの知性と能力

令和6年10月22日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これらは次世代と新しい知的エリートが有する理解は、現状の進歩と変化において新しい技術、生産性、効率性における高い利益性における事業構築を可能とするものである。

これらは今日すべての産業が自己転換を有することの真実である。これらは手工業が、19世紀の産業革命において、変化したことが今日その感性という新たな産業革命を有することを理解すべきである。

これらはITにおける制御と機械作業、生産における産業の転換がすべての分野において存在するのである。

これらは知的産業という概念が、すべての産業、第一次産業から、第3次産業に至るまで、その性質と現実を転換させているのである。

これらより優れた効率性は、高い利益性を生むものである。これが産業の性質を転換させているのである。これらは新しい利益性という現実が富への渴望とともに、産業の性質を転換させているのである。

またより優れた技術進歩は、その社会と生活の転換を与え、これらが産業の重要性を拡大させ、大きな自己プレゼンスの構築を新たに行っているのである。

これらはすべての現実の転換であり、社会構造や価値観の転換なのである。これらは自由経済システムにおいて存在することは、競争原理と勝者という現実が、世界のスタンダードとして新しい未来を創造しているのである。

これらは自由主義が、描く自由と栄光という幻想が現実化していることを意味する。しかし他方においては時代に落後する存在は多数与えられているのである。

また新しいエリートたちは、憧憬する生活と現実を有する。これらがキャリアへの憧憬を与え、現実の形成を行うのである。